

目標達成にあたっての課題(1) ～ランニングコスト～

プロジェクト開始時より、その継続のための財源確保が困難

具体的課題～ヒアリング等より～

26カ所(?)の遠隔医療プロジェクトのうち、継続しているのは数箇所
多額の補助金を受けても(相応のランニングコストを要するため)自分の首を絞めるだけ
国の支援は単年度であり、活動の効果が現れる前に終了してしまう

考えられる対応策(例)

【プロジェクト内にランニングコスト確保のシステムを内在化できないか?】

他の地域の収入確保のシステムの横展開(例:SCCJ)

コミュニティビジネス等の収益確保のシステムの組み込み

【どのような公的支援が考えられるか】

地方公共団体からの情報化関連業務のアウトソーシング(地域情報化に取り組むNPO等に対して)

地方公共団体がNPO等が推進する地域情報化施策のユーザとなる

モデル事業に対する複数年にわたる支援

目標達成にあたっての課題(2) ～インフラ～

地域情報化の基盤となるインフラが整備されていない

具体的課題～ヒアリング等より～

採算等の問題により、BBサービス等が提供されない情報過疎地域が存在
地域の公共的ネットワーク、国土交通省のネットワークの民間開放が必要
過疎地域のインフラ維持コストは高く、行政も地域住民も覚悟しなければならない
インフラ整備はNPOや民間ベースで整備するのは難しい
過疎地域の情報化を実現するためには、従来の概念を変えて、公共の範囲を再検討すべき
携帯等の個人認証活用も一方策

考えられる対応策(例)

【地域内にブロードバンドインフラを効率的に整備できないか？】

BBサービス提供事業者の誘致

他地域のインフラ構築事例の横展開

地域医療ネットワークのような、どの地域にも必要な分野を突破口として行政がインフラを整備

みあこネットを活用した地域公衆無線ネットワークモデルの導入

【どのような公的支援が考えられるか】

地域公共ネットワーク等の民間への開放

(行政による地域公共ネットワーク、CATV、民間のブロードバンドサービスのインフラの共同利用)

官民連携の新たな地域インフラ整備推進に関するモデル事業への支援

目標達成にあたっての課題(3) ～人材～

地域で人材を育てる仕組みがなく、慢性的に人材不足

具体的課題～ヒアリング等より～

ICT関連の知的作業を行う人材が不足しており、この分野の人材育成は最優先課題
地域全般的に中小企業やNPOとの人材のミスマッチが起きている
シニアのスペシャリストが活躍する場がない

考えられる対応策(例)

【地域内外の連携により人材を育成できないか？】

地域企業やNPOへの人材紹介、斡旋の仕組みの構築
先進地域に人を派遣するための仲介機能の構築

【どのような公的支援が考えられるか】

地域人材データベースの構築支援
地域内人的ネットワーク構築(人材マッチング等含む。)支援
先進地域との人材交流事業への支援
地域情報化プロデュース人材育成への支援

目標達成にあたっての課題(4) ～ 連携・横展開～

各主体間の役割分担が不明確 / 成功事例の横展開が有効

具体的課題～ヒアリング等より～

行政とNPOとの役割に線引きが行われていない
行政側にCIOのような組織を横断的に統括する体制が必要
地域の活動をパッケージとし、地域が自分に必要なものを選び取る仕組みが必要
IT利活用による所得の向上や透明性確保と競争によるサービスの質の向上が認識されるべき
リージョナルアイデンティティも重要な要素

考えられる対応策(例)

【連携を促進するための仕組みを構築できないか?】

地域情報化の横展開を図るような仲介およびアドバイス組織の構築
定期的な意見交換会、MLの活用等によるコミュニケーションの深化

【どのような公的支援が考えられるか】

先進地域の成功事例を他地域に適用・普及させるための先導的モデル事業への支援
行政・民間企業・NPOの連携による先導的モデル事業への支援

目標達成にあたっての課題(5) ～その他～

制度、規制の問題等 / 技術の標準化 / コンテンツ開発支援

具体的課題～ヒアリング等より～

補助事業での著作権の制限により、自由な活動が制約されてしまう
ベンダーによりシステム仕様が異なるため、共通化ができない

考えられる対応策(例)

各種制度、規制の緩和が促進されないか。

地域再生、特区制度の活用